

件名 **竹内南圃先生頌徳碑周りの巨樹伐採** 3月14日(日) 愛宕小学校学校運営協議会

愛宕小学校東門そばに建立されている竹内南圃先生頌徳碑(たけのうちなんぼせんせいしょうとくひ)周りの巨樹の伐採、剪定が行われ、すっきりした様相になりました。

剪定前



剪定後



たけのうちなんぼ

⑰ 竹内南圃先生頌徳碑 (尾津)

本名は留太郎。門前の豪農、秋田多四郎の三男、のち叔父竹内兵次郎(吉川家、御船手組脇役)の養嗣となる。明治15年(1882)、門前小学(同25年、愛宕小学校に発展)の訓導になり、同42年(1909)、有志の出費で、当碑が建てられる。さらに大正11年(1922)、山口県知事の表彰を受ける。しかし昭和30年代半ば(1960の頃)、敷地を含む土地が売却され、この地に移転しました。なお表の文字は中村是公(門前の中村家の養子になり、当時、満鉄総裁、のちに東京市長)。裏の文(岩国金石文集に集録)は南方一枝(玉乃世履に学ぶ儒者)で、書は秋田米吉少将(明治37年より日露戦争に従軍、のち台湾基隆要塞司令官)です。



平成24年発行の「ふるさと愛宕」に記述したコメント



右の円形の石碑には次の記述があります。
昭和二年四月
講堂寄附
國廣清右衛門
愛宕村建立

